GAOT
Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人
群馬県作業療法士会ニュース

「からっ風通信」　第153号　2023年7月発行

巻　頭　言

第25回作業療法学会開催にあたって
「作業療法の探求と発信～人と地域の生活を支える作業療法～」

介護老人保健施設うららく　**佐藤由子**

初めに、記念すべき第25回群馬県作業療法学会に関わらせて頂き、実行委員長、事務局長、パース大学の皆さまを初め関係各皆様、並びに会員の皆様には、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

第23回「作業療法の進化と継続」第24回「これからの社会と作業療法～作業療法のNext stage～」から引き継いで、変わりゆく社会に必要とされる作業療法に合うテーマは何か、と考えていた時、久ぶりに会った同級生に「作業療法士ってなにをするの？」と聞かれ、ハッとしました。私たち作業療法士が思っている程、一般の方にあまり知られていない、という事実を思い知らされました。これではいけない・・・もっと発信していかなくては。

実のところ、私は、研究などの学術活動に苦手意識を持っています。このような私が学会長を務めてよいものがどうか悩みました。今まで、お話を頂いた際は、「家庭の事情で責任を持てないから」とお断りしていました。しかし、コロナ禍で、「明日突然、人と交流できなくなるリスク」は誰もが抱えており、もし、そのよう様な事があっても、事がうまく運ぶようにしていかなくてはならない社会となりました。「家庭の事情」はもはや断る理由ではなくなり、学会長を務めさせて頂く決心を致しました。

私は、ご縁が合って、生活行為向上マネジメントの研究事業に参加させて頂き、その後、群馬県作業療法士会の生活行為向上マネジメント推進委員として関わらせて頂いています。「生活行為向上マネジメント」は、作業療法を見える化するマネジメントツールとして日本作業療法士協会が開発し厚労省に認められているものです。作業療法士ならば使いこなせなくてはならないものとして、研修会履修が推奨されており、当群馬県士会でも目標値の約6割の方が基礎研修を修了しています。しかし、ここ数年は履修者が減少、実践報告も伸び悩んでいます。この状況を打破すべく、昨年の北関東学会でアンケート調査を行った結果、「ハードルが高い」、「時間がかかる」、などの問題により実践に取り入れられていない会員が多いことが判明しました。生活行為向上マネジメントの普及啓発が課題、と考え、本学会のテーマを「生活行為向上マネジメントの活用」としようかと考えましたが、今回基調講演をお願いしている谷川真澄先生にご助言頂き、より幅広いテーマで、作業療法を探求し続ける事、そして、それを社会に発信していくことが重要という考えの本、作業療法が地域の中で必要とされる存在であって欲しい、そんな思いもこめ、「作業療法の探求と発信～人と地域の生活を支える作業療法」というテーマに決定致しました。

当学会では、作業療法士に生活行為向上マネジメントをもっと身近に感じてもらうため、日本作業療法士協会で長年、生活行為向上マネジメントプロジェクトリーダーをお務めになった谷川真澄先生をお招きして基調講演をして頂くことにしました。更に、領域ごとにMTDLPの実践報告も含めたワークショップを予定しています。特別講演では、COPMやAMPSを日本に広め、作業療法の発展にご尽力されている吉川ひろみ先生に作業療法の本質的なことについてお話頂きます。領域に関係なく、幅広く多くの方に役立つものになると思います。公開講座では、「装うことと生活行為向上」というタイトルで、美容師でもあり、訪問リハと訪問美容を手掛けている群馬県出身の上原孝行先生にお話しいただきます。今回は、スケジュールをシンプルにして、多くの会員の発表の機会を増やしたいと考えております。また、ビエント高崎では、メイン会場とつなぐサテライト会場であると共に、学生も含め、会員同士の交流の場、情報交換の場としていくつかブースを設ける予定です。メイン会場をモニターで視聴でき、お子様連れの会員でも参加できるようにと考えております。併せて、公募したポスターの掲示を行い、出展者を招待する予定で準備をしております。世の中、コロナ禍からだいぶ開放されてきていますが、どのような状況になるかわからないため、対面とオンラインのハイブリット開催の予定で準備をしております。何等かの形で、多くの方に参加して頂きたいと思います。

最後に、本学会の盛会を祈念致しますと共に、皆様の参加を心よりお待ち申し上げます

特集記事!!

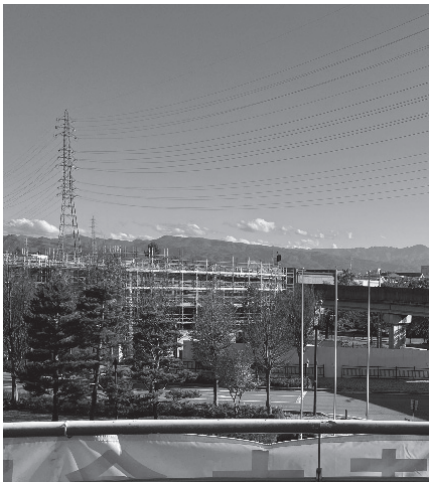
当事者による手記の第3弾。
群馬県立障害者リハビリテーションセンター（以下、センター）の「自立訓練（機能訓練/生活訓練）」を現在も利用されている障害者の方から、リハビリテーションの現場に向けた思いや願いをご本人自らパソコンで記して頂いた（センターの自立訓練とは、医療とは異なり障害福祉サービスに該当し、社会生活を再び営めるように生活へ根差した訓練・支援を実施する）。本回は前回の続編といってよく、身体障害と高次脳機能障害を有する当事者がご本人たっての希望で自らの素性を明かして記して頂いた点が特徴である。ご本人の意思が反映するように可能な限り原文のまま掲載した。なお、今回の特集に関して、ご本人、家族から掲載の同意を得ている（さらに詳細を知りたい方は第25回県作業療法学会で共同発表予定）。
センターの自立訓練について詳しくはHP（http://gunma-reha.jp）を参照されたい。

群馬県立障害者リハビリテーションセンター　髙橋洋輔

昨年から振り返り

私は昨年9月に自分の思いをこちらのコラムに書かせていただいてからさらに自分の思いに整理がついたと考えています。昨年から裁縫や料理、自転車練習（三輪）など様々なリハビリをやらせていただきました。今までずっとできなかった休みの日に一人で計画を立て旅行をしたこともありました。さらに高次脳機能障害をはじめとした自分の障害を見つめなおす当事者研究も始めています。今年2月に高次脳機能障害支援研修会に講師として出席し「まずは高次脳機能障害を知って頂く」ためプレゼンを通した活動もさせていただきました。ずっと自分のことが嫌いだった私がこの一年程でここまで大きく成長し自分を好きになれたのはリハビリを紹介していただけた職員さん、担当OTの高橋さんを始め、様々な福祉・医療関係者の皆様・福祉サービスのおかげであり本当に感謝しています。そして私がここまで成長できた過程を私の経験をもとに当事者研究として世間に広める。これが私にできる福祉への恩返しだと考えています。

2022/11【一人で長野県佐久市へ行ってきました】



2023/3【一人で神奈川県横浜市に行ってきました】

現在のリハビリ

上記のリハビリに加えVRカグラというメディカルマシーンも使っています。VR空間を使い様々な体重移動を繰り返し行うことで脳による指令伝達を正常に戻すというものです。これにより体の動きがスムーズになり三輪自転車練習もより一層進展が見られました。

二週間に一度のVRカグラを今年3月に一か月間利用を中止し、様子見していたところ、少しずつ体幹が弱くなってきているのを感じ、続けることの大切さを実感しました。

◎OTの皆様に伝えたい事

当事者、利用者さんにリハビリのモチベーションを保って頂けるように退院後や退所後も積極的に関係を継続させてほしいということです。実際に対面して、一対一で会話をすることによってお互いに障害改善に対するモチベーションに繋がると考えています。

私自身も高橋さんに現在の思いを吐露する時間を作ってもらっていることでリハビリや当事者研究の意欲を保たせている面があります。

「本人へ病気や障害に向き合ってもらう時間をいかにつくるか」、これをOTの皆様には考えていただきたいと思っています。

◎今後の課題

当事者研究を進めるとともに自分にとって本当により良い「答え」を見つけていきたいです。先月、就職に関するケース会議があり県リハにもあと半年ほどいさせて頂くことが決まりました。この期間で「自分に合った就職先探し」「当事者研究」を並行して頑張りたいと考えています。

群馬県立障害者リハビリテーションセンター生活訓練利用者　慶原　凌太

《略 歴》

慶原 凌太　現在21歳

2002年生まれ、群馬県伊勢崎市出身、四人兄弟の長男。
2012年に脳腫瘍を発症し、小脳失調と高次脳機能障害を発症したが、20歳まで高次脳機能障害の診断を受けることはなく、違和感を感じながら過ごす。
伊勢崎興陽高等学校卒業後、就労移行支援で二年間を過ごす。
2022年3月から群馬県立障害者リハビリテーションセンターを利用し、自己理解と葛藤を繰り返しながらも2023年2月に高次脳機能障害支援研修会で講師を務める。

現在　一般社団法人がん哲学外来登録カフェG-AYA代表でもある

令和5年度 群馬県作業療法士会主催
臨床実習指導者講習会 開催のお知らせ

いつもお世話になっております。養成校連絡協議会からの連絡です。
今年度の実習指導者講習会は、下記通り、対面での開催を1回予定しております。
臨床経験が5年目に入った方、これまでの遠隔講習会に参加しづらかった方は、
ぜひこの機会をご利用ください。今後も、臨床－教育機関－県士会が一体となった
後進育成の体制づくりを目指していきたと思ますので、どうぞよろしくお願いいたします。

日時 :令和5年10月28日(土)～ 29日(日)終日
場所 :群馬パース大学
高崎市問屋町1丁目 7-1
形態 :対面
※感染が大幅に拡する場合は Webに変更する可能性がございます。
定員 :50 名(予定)
対象 :臨床経験4年(5年目)以上の OT ・PT
募集 :7月下旬～8月上旬に県士会HPにて開始
https://gunma-ot.org/

群馬県作業療法士会 令和4年度第4回理事会議事録

日　時：2022年11月30日（水）19:00 ～ 20:30
Zoom使用でのリモート会議
参加者：新井、関根、山口、柴田、石森、李、今村、小此木、勝野、高坂、都丸、長谷川、山浦、唐澤、高橋　15名

Ⅰ. 各部議事

1. 教育部［報告者：勝野］

【報告事項】

1）ブロック長会議　コロナウイルス流行のため、メールで随時審議を実施。11/11にzoomにてリモート会議実施。

【検討議題】

①現職者共通研修・選択研修、基礎ポイントについて
「保健・医療・福祉と地域支援」日時：2022年11月24日
講師：真塩部長 → 山口G長　参加者：26名
「作業療法における協業・後輩育成」日時：202年12月6日
講師：都丸理事
「実践のための作業療法研究」日時：2023年1月20日
講師：李事
「日本と世界の作業療法の動向」日時：2023年2月9日
講師：新井会長
「身体障害領域」日時：2022年12月11日
講師：宮寺OTR、糸井OTR、藤井OTR、石森理事
「基礎ポイント研修　自動車運転と作業療法」
日時：2023年1月26日　講師：原OTR

②令和5年度 新人症例発表会について
日時：2023年7月23日にオンラインにて開催
統括：登山ブロック長
アナウンスを開始しました。

2）研修会報告
「事例報告と事例研究」日時：2022年10月5日
講師：近藤OTR　参加者21名
「基礎ポイント研修　脳卒中上肢機能評価について」
日時：2022年11月8日・15日
参加者：60名　講師：近藤OTR、荻原OTR、佐藤OTR

3）その他
①PC配置について
今井が管理している教育部PCを西毛ブロックの黒田さん管理へ変更する。今月の北関東信越ブロック学会で引き渡し予定。
②生涯教育システムのポイントについて
戸部SG長の手元に名簿が届いてから2週間前後で登録が可能です。担当者の名簿提出のタイミングによりますが、研修会終了後1か月あれば登録はできることになります。研修会でポイント反映の質問があればそのように答えてください。
③研修会報告について
研修会報告書、アンケート、参加者名簿、研修会資料の4つをSGで保管しています。今年度の研修会でまだ提出していないブロックは戸部SG長まで提出してください。

【審議事項】　なし

2. 学術部［報告者：李］

1）学術研究グループ

【報告事項】

①22年度学術部勉強会（学会支援企画）を5回開催した。

2）学会支援グループ

【報告事項】

①第7回北関東信越ブロック学会、第24回群馬県作業療法学会の運営支援（HP運営、Facebook管理、Instagram、Peatix等）を行った。

3）機関誌編集グループ

【報告事項】

①機関誌・学会誌「ぐんま作業療法研究vol.25　2022」印刷完了し、事務局納品、発送済み。

【審議事項】

①機関誌、学会ポスター印刷費用について
今年度予算は当初400,000円で計上。実際の費用は549,450円。要因としては冊子のページ数増加と、学会ポスターが2種類の印刷となったことでの費用増加。
実情に合わせての、現在からの予算変更が可能か。
→　承認

3. 広報部［報告者：都丸］

【報告事項】

1）公益事業グループ

①11月5日にオンラインでの広報部会を開催。
中高生へ向けた広報活動について、入会手続きの簡略化の検討や学生会員についてのアピールをしていけるとよいのではといった意見が挙がる。中高生への広報活動について、部員の知人の先生に相談してみるといった個人的なつながりからのアプローチができないか「作業療法士」のワードやインスタ、公式LINEアカウントのQRコードを届けられる様なノベルティを学校に送付する、地域のコンビニ・スーパー・書店・文具店等に広報物を啓示してもらう等の意見が挙がる。

2）ニュース編集グループ

①　1月号の発行準備中。

3）広報企画グループ

①公益事業Gと合同で、今年度の活動も実施。必要な情報収集等を実施している。

【審議事項】　なし

4. 地域作業療法推進部［報告者：高坂］

【報告事項】

1）地域包括ケア推進グループ

①10月13日地域包括ケア推進グループ定例会議を実施した。
②10月30日日本作業療法協会主催2022年度地域支援事業に関する人材育成研修会に山浦理事、山口G長の2名が参加した。全国の作業療法士会の選任者と作業療法士の市町村への配置を展開してくための意見交換を実施した。

2）認知症支援推進グループ

①以下の通り、「認知症ケア資質向上のための研修会」の企画が確定した。
第1回：令和5年1月21日（土）12:40～16:50
講師：中村幸恵氏(内田病院)、石井利幸氏(介護老人保健施設ひもろぎの園)、高橋将弘氏(株式会社晃希)
第2回：令和5年3月4日（土）12:40～16:40
講師：齊藤道子氏(玉村町健康福祉課)、目崎智恵子氏(高崎市)、藤生大我氏(内田病院)、志賀幸雄氏(市民後見プラザ)

第1・2回とも基地局を前橋マーキュリーの会議室とし、Zoomオンラインで開催予定である。
②11月1日付で、県内事業所466施設に①の研修会のチラシを送付した。
③佐藤部員を中心に、県内OTに対して、認知症支援の状況に関するアンケート調査を企画調整中である。1月に開催予定の認知症に関する都道府県士会情報交換会で調査の結果を報告できるように作業を進めている。

3）精神科領域推進グループ

①10/24（月）19：30 ～ 第4回会議を実施した。
②北関東甲信越ブロック大会・群馬県作業療法学会のWSについて、当日はOrihimeを使用して前橋アーツminaと中継をする予定である。機器操作等は担当のグループ員が行う。
③生活の質向上のためのいきいきワンポイントアドバイスについて暫定版が作成され、校正を行った。
④群馬県地域自殺対策強化事業について、R5年2月12日（日）13：00 ～ 16：30オンラインにて実施予定。講師は木村真依子先生(前橋赤十字病院　臨床心理士)、織田靖史先生(県立広島大学助教 作業療法士)に決定した。
⑤第2回情報交歓会について、就労や地域、訪問看護についての知識を深めたいとの希望がグループ員から多く聞かれたため、それをふまえて企画中である。

4）発達支援推進グループ［報告者：勝野］

①9月27日（火）、10月28日（金）に研修会企画委員会議をオンラインで開催した。
②10月19日（水）に幹部会議をオンラインで開催した。
③10月26日（水）に部員全体会議をオンラインで開催した。
④9月22日（木）、10月18日（火）、11月15日（火）に生活の質向上のためのワンポイントアドバイス企画会議にオンラインで勝野理事、六本木G長が出席した。
⑤11月2日（水）19：00～20：30に定期勉強会をオンラインで開催した。講師は田中邦治氏（県立二葉特別支援学校教諭）テーマ『視線入力装置やスイッチ関連の活用の実際　』、申し込みは30名あり、当日参加者は28名（県士会員25名学生3名）。実際に校内で活用をしている事例の動画や実用的な資料をいただき、参加者からは好評であった。
⑥次回の定期勉強会は令和5年1月11日（水）19：00～21：00オンラインで開催予定。テーマは『県内の保健領域におけるOTの関与状況の共有』でみなかみ町での発達支援事業の紹介と地域に分かれてOTが関与している事業についてエリアマップを作成する。講師に中嶋鮎氏、みなかみ町保健師を予定している。

5）全体として

①10月18日地域作業療法推進部役職者会議および合同第4回生活の質向上のためのワンポイントアドバイスに関する会議を実施した。リーフレット作成に関するスケジュールや内容の検討を行なった。

【審議事項】　なし

5．地域局

【報告事項】

1）北中毛ブロック支部　報告者 小此木

①学会について
北関東甲信越ブロック学会/群馬県作業療法学会を11月26日、27日に開催した。
②介護・障害認定審査委員の後任について
前橋市介護認定審査委員：土屋OTが現任だが、次年度の後任を探していく。
前橋市障害認定審査委員：市川OTが現任だが、次年度の後任を探していく。
③11/22川場村

2）東毛ブロック支部［報告者：今村］

①研修報告
10/21 あずまミーティングに訪看グラーチア中島OTが講師として参加した。
テーマ：お一人様を支える
開催方法：ハイブリッドで開催　　参加者数：60名
3）西毛ブロック支部　報告者 山浦
①医療介護連携フェスティバルin高崎
11/1、11/29に実施された担当者会議へ山浦が参加した。
フェスティバルは12/1 ～ 2/28までWeb開催予定。
テーマ：生涯100年時代に備える人生会議編
内容：寸劇、在宅医療・介護にかかるお金事情、薬剤師の伝える在宅医療、ちょい足し健康ご飯、アンチエイジング体操など動画配信予定
②高崎・安中圏域の地域リハ推進協議会
前任の中澤OT（榛名荘病院）が退職したため、後任者をうららくの佐藤OTに選定し承諾を得る。
③次年度学会について　学会長：佐藤由子、実行委員長：小板橋誠、事務局長：近藤健

【審議事項】　なし

6．運転と作業療法特設委員会［報告者：李］

【報告事項】

1）2022年9月28日（水）に前橋自動車教習所にて「障害者・高齢者の自動車運転に関する情報交換会」を実施し、「障害者の運転再開に向けた医療施設・教習所連携」というテーマで発表を行った。
2）2022年10月1日（土）にぐんま自動車運転リハビリテーション研究会と合同で世話人会を実施した。
3）2022年10月27日（木）にぐんま自動車運転リハビリテーション研究会、前橋自動車教習所、かぶら自動車教習所と合同で群馬県警察本部交通部運転免許課と面談を実施した。
4）2022年11月27日（日）に第7回北関東信越ブロック及び第24回群馬県作業療法学会でワークショップを開催した。
5）2022年12月10日（土）にぐんま自動車運転リハビリテーション研究会と合同で世話人会を実施する。

【審議事項】

1）全日本指定自動車教習所協会連合会と日本作業療法士協会で実施した、「指定自動車教習所における高次脳機能障害者の実車評価に関するアンケート」の集計結果を群馬県内の各施設の作業療法士管理職に向けてメールで通知をしたいと考えます。
運転と作業療法委員会からは、「本アンケート結果はネガティブな内容も記載しており、デリケートな情報も含まれ、協会・士会から外部に流れ一部を切り取られた形で伝わりますと、作業療法士への疑念や誤解を生じる可能性があるものです。しかしながら同時に現場の作業療法士の教育、支援の振り返りに欠かせない情報ともなっております。
つきましては、この情報の取り扱いには十分留意していただいた上で支援の質向上に生かしていただきたい」と助言をいただいております。ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

7. 養成校連絡協議会［報告者：高坂］

【報告事項】

1）10月30日より第2回臨床実習指導者講習会の申し込みを開始した。

2）第7回北関東甲信越ブロック学会・第24回群馬県作業療法学会のワークショップ準備を進めた。

【審議事項】 なし

8. 福祉用具委員会［報告者：石森］

【報告事項】

1）福祉用具相談支援システムの県士会員登録状況

令和4年11月21日において、福祉用具相談支援システムの登録者数は32件、相談件数は0件。

10月発刊のニュースにて、県士会員へ福祉用具相談支援システムお役立ち通信Vol.1、Vol4、福祉用具の日クリアファイル（1会員に1枚）を郵送し、登録者数の増加をはかった。

2）福祉用具関連の研修依頼への対応について

一般社団法人群馬建築士会より、福祉用具についての講師依頼があり、令和4年11月29日に実施した。

講師は美原記念病院 石森卓矢。

第6回群馬県在宅リハビリテーション研修会より、福祉用具についての講師依頼があった。講義動画は令和4年12月17日から25日に動画配信サイトを用いて配信予定。講師は美原記念病院 石森卓矢。

【審議事項】 なし

9. 福利厚生部［報告者：小此木］

【報告事項】

1）福利厚生部企画として、ワークショップ「ライフイベントに応じた働き方ってなんだろう？～Mommy Brainをきっかけに考えてみませんか～」のアフターセミナーを開催していく

⇒1/15に開催の方向で講師の柳井先生に内諾済み。

2）北関東信越ブロック学会について

優秀演題賞審査、表彰式、ワークショップの運営を実施した。

【審議事項】 なし

10. 事務局

【報告事項】報告者 長谷川

1）基礎研修ポイントに関する問い合わせフォームの設置について

基礎研修ポイントに関する問い合わせフォームを設置しました。

12月1日以降、基礎研修ポイント取得等に関する問い合わせについては、教育部担当に直接連絡がいく仕組みとなります。

2）ホームページ運用規約の掲載について⇒HP掲載します(2022年3月理事会承認済み)

【審議事項】

1）求人情報のHP掲載について下記条件でよいか?

①掲載の条件 ⅰ）群馬県内の施設とする。

ⅱ）掲載期間は3ヶ月とする。

期間内に掲載の取り消しを希望される場合は、事務局へ連絡する。

ⅲ）掲載依頼はHPの求人情報掲載依頼の専用フォームから行う。）

→ チェック機能があった方が良いのではないか。

②掲載料の徴収についての有無

③求人情報HP掲載イメージ(審議なし)

※表記で追加修正等ご意見ございましたら、ご教示ください

④規約について

上記内容について審議結果をもとに規約の作成を行います。

2）謝金規定について

日当に関しては来年度(2023年度)からの適用とするか？

→ 承認

【審議事項】報告者 高橋

1）上毛新聞紙上名刺交換会について

来年についての掲載の有無について

→ 来年は掲載しない方向で承認。

2）事務局員繁野様の退職について

最長今年度一杯（R5.3.31）迄で退職の希望あり。

→ まずは元事務局員 加藤様に戻っていただけるか打診してみる。

群馬県作業療法士会 令和4年度第5回理事会議事録

日　時：2023年1月25日(水) 19:00 ～ 21:10
Zoom使用でのリモート会議
参加者：新井、関根、山口、柴田、石森、市川、今村、小此木、勝野、高坂、都丸、長谷川、村井、山浦、高橋　15名

Ⅰ. 会長より

OTも更新制方向への動きがある。職能団体の研修会をどれだけ受けているか。協会に入っていることが条件となる。組織率の低下、質の低下が問題となってきている。
各養成校になげかけをして協力をしていただき、協会と県士会に参加する意味を訴える機会を作る。1コマでも場所を作る。

Ⅱ. 各部議事

1. 教育部[報告者：勝野]

【報告事項】

1) ブロック長会議　コロナウイルス流行のため、メールで随時審議を実施。1/12にzoomにてリモート会議実施。

【検討議題】

①現職者共通研修・選択研修、基礎ポイントについて
「実践のための作業療法研究」日時：2023年1月20日
講師：李理事
「日本と世界の作業療法の動向」日時：2023年2月9日
講師：新井会長
「基礎ポイント研修　自動車運転と作業療法」
日時：2023年1月26日　講師：原OTR
②令和5年度 新人症例発表会について
日時：2023年7月23日にオンラインにて開催
統括：登山ブロック長
アナウンスを開始しています。2月に再度メールなどで県士会員への周知を検討。

2) 研修会報告
①「身体障害領域」日時：2022年12月11日　参加者：21名
講師：宮寺G長、糸井OTR、藤井OTR、石森理事
②「保健・医療・福祉と地域支援」日時：2022年11月24日
参加者：36名　講師：山口G長
③「作業療法における協業・後輩育成」日時：202年12月6日
参加者：23名　講師：都丸理事

3) その他
①行動交通費について
各ブロックの会計がまとめ、2月末までに事務局へ提出する。
②今年度の備品購入について
今年度の領収書は2月末までに山ノ内会計統括へ提出する。

【審議事項】　なし

2. 学術部[報告者：李]

1) 学術研究グループ

【報告事項】

①22年度学術部勉強会(学会支援企画)を5回開催した。
②次年度の学術誌・県学会査読者管理業務は群馬県立心臓血管センター　山下遊平氏、学術部勉強会は榛名荘病院　佐藤里沙氏が中心に行う予定

2) 学会支援グループ

【報告事項】

①第7回北関東信越ブロック学会、第24回群馬県作業療法学会の財務管理(出納帳作成、領収書整理)を行った。
②第24回群馬県作業療法学会から第25回群馬県作業療法学会への実行委員引き継ぎ会を2月に開催予定である。

3) 機関誌編集グループ

【報告事項】

①機関誌「ぐんま作業療法研究vol.25　2022」について、10月下旬に事務局納品、発送。
②県学会一般演題発表者への、論文投稿依頼をメールにて行う予定(1月中)。

【審議事項】　なし

3. 広報部[報告者：都丸]

【報告事項】

1) 公益事業グループ

①中高生へ向けた広報活動について検討中。年度内に再度部会を開催し来年度の行動計画を立案する予定。

2) ニュース編集グループ

①10月号掲載記事で不備があり、施設長様、執筆者様へ県士会として対応させていただきました。(新井会長、高橋事務局長に対応いただきました。)
②1月号は無事発行段階に入った。今年度の発行は1月号で終了となる。
③次回は4月号の発行となるので、掲載するものがある場合は3月20日頃を目安にデータの送付をお願いします.

3) 広報企画グループ

①公益事業Gと合同で、今年度の活動も実施。必要な情報収集等を実施している。

【審議事項】　なし

4. 地域作業療法推進部[報告者：高坂]

【報告事項】

1) 地域包括ケア推進グループ

①11月15日地域作業療法推進部合同第5回生活の質向上のためのワンポイントアドバイスに関する会議を実施した。また、11月26、27日に開催された第7回北関東甲信越ブロック学会並びに第24回群馬県作業療法学会では来場者に資料を配布し、ワンポイントアドバイスに対するパブリックコメントの公募を実施した。
②12月8日地域包括ケア推進グループ定例会議実施した。
③1月25日関東ブロック会議開催予定である。
④2月12日日本作業療法士協会地域包括ケア推進委員会主催のWeb会議がに参加予定である。

2) 認知症支援推進グループ

①1月17日に会議を開催し、1月21日、3月4日に開催予定の認知症ケア資質向上のための研修会の役割分担や研修会後の作業(アンケート結果の分析等)の内容を確認した。
②栗原、吉田を中心に、生活の質ワンポイントアドバイスを制作した。4グループの企画調整の後、群馬県作業療法学会でパブリックコメントの公募を実施した。
③佐藤部員を中心に、県内OTに対して、認知症支援の状況に関するアンケート調査を実施中である。1月29日に開催

予定の認知症に関する都道府県士会情報交換会で調査の結果を報告できるように分析を進めている。

3）精神科領域推進グループ

①群馬県精神保健福祉協会より依頼のあった協会だよりの原稿について、新井会長より寄稿いただいた。

②1月30日（月）グループ会議を開催予定である。

4）発達支援推進グループ［報告者：勝野］

①11月26日（土）に第7回北関東信越ブロック学会・第24回群馬県作業療法学会にてワークショップ『発達支援推進グループ　後進育成について～保育士等研修会スタッフアンケートより～』を開催した。講師は六本木G長が担当した。

②12月7日（水）、1月6日（金）に研修会企画委員会をオンラインにて開催した。

③12月21日（水）に部員全体会議をオンラインで開催した。

④1月11日（水）19:00～21:00で定期勉強会をオンラインで開催した。講師は中村佳代氏（みなかみ町保健師）、中嶋鮎氏（anomira）の2名で、テーマ『保健領域の作業療法士の関わり』であった。今回は2部制にし第1部でみなかみ町の発達支援事業についての講義、第2部では県士会員と県内OT学生に限定した情報交換会を地域毎に分かれて開催した。参加者は25名（県士会員21名、学生2名、他職種2名）。地域毎に分かれての情報交換会では地域別のOTの関与状況についての情報共有を行った。今回の資料をもとに県内のエリアマップを今後作成していく。

【審議事項】

1）地域包括ケア推進グループ

日本作業療法士協会では来年度より新たに第四時5カ年戦略が始動する。その中の1つに市町村担当者の配置と人材育成や人材派遣などの基盤の整備が必要となる。群馬県としても早急に対応を求められており、地域局や関係各所との連携を図っていきたい。場合によりPOS3士会との協議も検討したい。

⇒　ブロック　広域支援

2）発達支援推進グループ

2023年度『学校を理解して支援ができる作業療法士育成研修会（基礎編）』の開催について

2014年よりOT協会の重点課題研修として開催されてきた『学校を理解して支援ができる作業療法士育成研修会（基礎編）』について、次年度県士会主催で開催したい。本研修は協会が作成したプログラムやテキストを使用し学校の理解から支援に関する考え方などOTが支援を行う上で活用できる内容である。また、多くの士会で人材育成を目的に開催されている。近県では茨城県、東京都、神奈川県、千葉県、山梨県、新潟県、長野県で既に開催されている。基礎編のステップアップとして実践編の研修プログラムも設定されており、基礎編の受講が必須条件であるため県内での開催を希望する。

現在、外部専門家派遣事業（県教委からの委託事業）登録者の半数以上は発達領域以外であることや、発達領域で勤務しているOTも学校での支援経験は極限られた人といった状況である。また近年は不登校や虐待など学校における問題が変化し、精神科領域OTなどの参画も求められてくる。しかし学校の教育制度や組織、学習指導要領など病院とは異なる学校という場所への理解が不十分だと、現場の実情と作業療法士の提案が乖離してしまう。

県教委からの委託事業における人材育成は急務であり、本研修の次年度開催についてぜひご検討をお願いいたします。

⇒　予算等に関しては講師4名で25万円くらいを予定。参加者50名くらいで参加費4,000円くらいで行う。

協会メインではなく

5. 福利厚生部［報告者：市川］

【報告事項】

1）福利厚生部主催作業療法学会アフター企画

「『ライフイベントに応じた働き方ってなんだろう？～Mommy　Brainをきっかけに考えてみませんか～』を振り返ってみませんか」

2023年1月15日（日）14：00～15：30

講師：柳井明子先生（群馬医療福祉大）　研修参加者：9名

「柳井明子先生のライフイベントに応じた働き方ってなんだろう？～Mommy　Brainをきっかけに考えてみませんか～」での講義を行い、その後、ワークショップとして、参加者の「現状の悩みや葛藤等」を共有しました。特に、アフター企画として、ワークショップを長く行い、参加者からの活発な意見交換が行えました。

ワークショップでは、参加者から職場での仕事量の調整について悩みを抱えているなどの意見があったこと、話の中で同じ思いを抱えていることに気持ちが楽になったなどの意見もありました。今後アンケートを集計し、報告予定。

2）北関東信越ブロック学会一般演題優秀演題賞

優秀演題賞の受賞者のコメントをからっ風通信に掲載していく予定になっています。

3）優秀学生賞について

各養成校にメールで連絡し進めています。例年通り、各養成校に卒業式で行っていただくよう調整を行っています。

【審議事項】　なし

6. 地域局［報告者：今村］

地域局会議ZOOMで行った。

【報告事項】

1）北中毛ブロック支部　報告者 小此木

①前橋市の各審査会審査委員の選定・推薦を行った。

前橋市介護認定審査委員：創春館　橋爪OT

前橋市自立支援審査委員：群馬医療福大学　高坂理事

2）西毛ブロック支部　報告者 山浦

①学会の運営委員会の準備を行った。

②ブロック支部会議の実施（R5.1.13メール配信）

コロナ感染拡大による業務負担が増えていることも考慮してメール配信での紙面開催として実施。

（マネジメントに関して・卒後教育・モチベーション管理に関して・OTの所属情報更新）

［内容］今年度の活動報告、R5年度学会について、主任代表者へのアンケート

アンケートは1.17時点で3施設より回答頂いている。

学会

3）東毛ブロック支部［報告者：今村］

①伊勢崎市　介護認定審査会審査委員　交渉中

【審議事項】　なし

7. 運転と作業療法特設委員会［報告者：李］

【報告事項】

1）2022年12月1日（木）に事務局を通じて「指定自動車教習所における高次脳機能障害者の実車評価に関するアンケート」の結果を各施設へメール配信を実施した。

2）2022年12月10日（土）、2023年1月21日（土）に「ぐん

ま自動車運転リハビリテーション研究会」と合同でzoomにて世話人会を実施した。
3）2023年1月16日（月）に群馬県指定自動車教習所と情報交換会を実施した。
4）2023年2月にぐんま自動車運転リハビリテーション研究会と合同で症例検討会を実施予定。
【審議事項】　なし

8. 養成校連絡協議会［報告者：高坂］
【報告事項】
1）1月28、29日で第2回臨床実習指導者講習会を開催予定である。受講予定者数は19名となっている。

9. 福祉用具委員会［報告者：石森］
【報告事項】
1）福祉用具相談支援システムの県士会員登録状況
令和5年1月19日時点において、福祉用具相談支援システムの登録者数は33件、相談件数は0件。
2）福祉用具関連の研修依頼への対応について
第6回群馬県在宅リハビリテーション研修会にて、福祉用具についての講義を動画配信した。講義動画は令和4年12月17日から25日に動画配信サイトを用いて配信された。講師は美原記念病院 石森卓矢。
【審議事項】　なし

10. 第7回北関東信越ブロック学会・第24回群馬県作業療法学会［報告者：山口］
【報告事項】
1）学会の開催
①会計処理、後援の事後報告などの手続きを実施。
②一部連絡が取れなかった実行委員を除き、交通費等の支払い完了。
③次年度学会への引継ぎ会が2月に予定。
④収支について、以前に補正予算15万を組んで頂いたが、広告費や冊子販売で予想より収入があり、また講師料をご辞退された先生やWEB打合せを多用することでの交通費削減効果が大きく、結果的には補正不要であった。
→ご協力いただいた先生方、皆様、ありがとうございます
⑤収支の最終報告は、総会資料で学術支援Gからあります。
【審議事項】　なし

11. POS連絡協議会［報告者：山口］
【報告事項】
1）群馬県地域リハ研究会
日時：令和5年2月18日（土）14:00-15:30
会場：ZOOMウェビナー
演題：「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について（仮）」
講師：日本理学療法士協会　常勤理事　佐々木嘉光氏
2）フレイル予防関連事業について
①フレイル予防標準テキストの改訂
②フレイル予防標準テキストブラッシュアップ版の作成
（地域住民による通いの場立ち上げ、運営マニュアル）
③フレイル予防動画資料の作製
約3年前のフレイル予防標準テキスト作成時→長谷川副事務局長と山口
→今年度は　関根副会長、宮寺認知症G長、山口
3）POS連絡協議会　研修会
1月18日（水）、20日（金）災害研修（宮寺寛子先生）
2月9日（木）、10日（金）
介護予防研修（オーラルフレイルについて
講師：小原由紀　先生・東京都健康長寿医療センター研究所自立促進と精神保健研究チーム）
3月24日（金）, 27日（月）地域ケア会議研修（佐藤孝臣先生）
【審議事項】　なし

12. 全国リハビリテーション学校協会版臨床実習指導者講習会［報告者：山口］
【報告事項】
1）2023年度臨床実習指導者講習会に関する説明会
2022/12/08にWEBにて開催された。養成校連絡協議会担当の高坂理事にも同席いただいた。次年度開催は23年1月末が締め切り。
→当法人では、養成校連絡協議会が主催で実施しており、現状では必要性は感じておらず、また各養成校やPT連絡校からの問い合わせもない。
【審議事項】　なし

13. 事務局
【報告事項】報告者 高橋
1）事務局員について
①元事務局員加藤様が2月より復職。現事務局員繁野様は2/10退職となります。2/2～10までの6日間で引継ぎ予定。
加藤様の復職に伴い、第4回理事会で審議事項であった駐車場については、そのまま継続とする。
②事務局業務の検討について
前橋市内の一般事務員の給与（常勤）について￥145,000～240,000程度。今後も検討を継続していく。
2）昨年度までの活動費の振り込みについて
マイナンバー等の個人情報の報告があった方58名に振込済。昨年中に振り込み済みの方には源泉徴収票を作成し自宅へ郵送済。税金も納税済、各市町村へも報告済。
現在マイナンバー等の個人情報も70名弱しか報告なく、今年度の活動費についても決算後振込予定のため各部・グループの方へ報告の周知をお願いしたい。
【審議事項】
1）今年度活動費について
昨年度までの活動費については振込手数料・税金ともに県士会で支払いをしている。
今年度分に関してはどうするのか？昨年までと同様か？
⇒ 昨年と同様に振込手数料・税金ともに県士会負担で支払う
2）来年度の総会について
日時：6月18日or 25日
コロナ禍になって総会は3役のみの状態だが、来年度も同様で行うか？　⇒　次回理事会で決定する。
3）求人広告掲載規約　（別紙参照）報告者 長谷川
①料金設定（一律）　案1：1万円/3か月
案2：5千円/3か月　　延長：1か月につき3千円
②掲載期間：3か月
⇒　案2の掲載期間3か月、料金5,000円、延長は1か月につき1,000円。
③SNSその他での広告の可否について（フェイスブック、メールを通じた広告案内の可否）　⇒　否承認
4）2023年度　新規会員申し込みに関して
2023年度から、クレジットカード決済での申し込みが可能となる。
カード持っていない新規会員については、現状通り、振込と書類郵送での対応とする。

申し込みフォームからの会員申し込み開始で良いか。
⇒　承認
※機能としては、既存会員の支払いも可能な仕組みではあるので要請があれば、既存会員の会費支払いとしても準備は可能
5）休会制度の創設について
群馬県作業療法士会の休会制度の創設について
これまでも数名の会員から休会制度についての問い合わせあり
〈創設の目的〉出産や育児または介護、長期の病気療養等により、一時的に休職あるいは退職をしている正会員に対し、経済的負担なく正会員の資格を継続できる
〈創設する場合に検討が必要な事項〉
①休会期間中停止される会員の権利の範囲
ニュース・機関紙等の郵送物の配送の可否
県士会役員活動継続の可否
研修会の受講・生涯教育のポイントの発行(協会の規定による)
②休会取得回数上限(OT協会 5回まで)
③休会取得するための条件（会費の完納）
④必要届け出書類(休会届以外の証明書等の提出の有無)
〈創設した場合のコスト〉事務処理の煩雑さの増大
①配送物の管理
②会費収受の管理
③休会の回数管理
すべて会員管理システムが稼働していない中で行うため、作業のミスや管理不十分などのトラブルケースが多くなることが想定される（日本作業療法士協会の会員システムが稼働することで解消する。あと2年？）
〈創設しない場合の代替案〉
何らかの理由で休職になった会員に対する経済的な補償と位置づけるのであれば、
案:休職中の会員おける、会費の1/2相当を返金する手当の新設
・会員管理は現状通り
・申請には、OT協会同様の提出書類を、求める
・回数は5回を、限度とする
・事務局としての作業は、申請書類の確認と返金処理のみとなり、郵送物などの処理や会費の収受に手をつける必要がない。
休会制度創設の可否について
⇒　休会制度の創設は無し。会費減免事業（代替案）で承認。

群馬県作業療法士会 令和4年度第6回理事会議事録

日　時：2022年3月22日（水）19:00 ～ 20:30
Zoom使用でのリモート会議
参加者：新井、関根、山口、柴田、石森、市川、李、今村、小此木、勝野、高坂、都丸、長谷川、山浦、唐澤、高橋　16名

Ⅰ. 会長より
群馬県における刑事司法領域における作業療法のとりくみについて
群馬県前橋市にある前橋刑務所での作業療法(士)の取り組みについて、確認していく。事務局として対応することとなった。

Ⅱ. 各部報告
1. 学術部［担当理事：李・村井／学術部長 牛込祐樹］
1）学術研究グループ（グループ長　近藤　健）
【報告事項】
①22年度学術部勉強会（学会支援企画）を計7回開催した。
②参加者3名が日本作業療法学会（沖縄）に演題登録した。
【審議事項】　なし
2）学会支援グループ（グループ長　野口直人）
【報告事項】
①第7回北関東信越ブロック学会第24回群馬県作業療法学会の財務管理（出納帳作成、領収書整理）を行った。
②第24回群馬県作業療法学会から第25回群馬県作業療法学会への実行委員引き継ぎ会を開催した。
【審議事項】　なし
3）機関誌編集グループ（グループ長 糸井陽祐）
【報告事項】
①2/6に学会実行委員引継ぎ会に参加し、開催までのスケジュール等確認した。
②県学会一般演題発表者への、論文投稿依頼をメールにて実施（3月）。連絡が遅くなってしまったので、論文投稿〆切を4/20程度まで延長予定。
【審議事項】　なし

2. 教育部［報告者：教育部部長 今井卓也］
1）ブロック長会議　コロナウイルス流行のため、メールで随時審議を実施。3/7にzoomにてリモート会議実施。
①検討議題
ⅰ）令和5年度 新人症例発表会について
日時：2023年7月23日にオンラインにて開催
統括：登山ブロック長　　参加者：40名
ⅱ）2023年度研修会計画
現職者共通研修　8コマ：東毛・西毛ブロック担当
現職者選択研修　老年期障害領域：北中毛ブロック担当
基礎ポイント研修　2コマ：今井・水上研修企画G長担当
新人症例発表会：北中毛ブロック担当
ⅲ）Peatixについて
2023年度のオーナー・サブオーナーを下記へ決定。
変更準備をすすめる。
・オーナー：黒田・今井
・サブオーナー：登山ブロック長・須田ブロック長
②研修会報告
「日本と世界の作業療法」日時：2023年2月9日
講師：新井会長　　参加者：23名
③その他
ⅰ）県士会裁量ポイントについて
水上研修企画G長が戸部SG長へ名簿を提出
ⅱ）2023年度の名簿について
各ブロック長は2023年度の名簿を4月末までに水上研修企画G長へ提出
【審議事項】　特になし

3. 広報部［部長：土岐新太］
【報告事項】
1）公益事業グループ（グループ長：中澤）
・中高生へ向けた広報活動として今年度開催した作業療法体験をWEBにて来年度も開催する方向。ノベルティグッズの作製も検討中。

2）ニュース編集グループ（グループ長：反町）
・4月号の発行準備を進めています。掲載するものがある場合は3月20日頃を目安にデータの送付をお願いします。
3）広報企画グループ（グループ長：金子）
・公益事業Gと合同で、今年度の活動も実施。必要な情報収集等を実施している。
【審議事項】　なし

4. 福利厚生部［部長：設楽俊史］
【報告事項】
1）来年度の女性会員に向けた試み
ママ会員向けの企画を進めるため、福利厚生部内で担当者部署を設置検討中
次年度はママ会員から多くの意見をもらえるような企画を検討。
・学会でのママ会員、女性会員から意見が記載できるスペースの検討、依頼
・ママ会員向けにgoogle等インターネットを用いたアンケート集計等
2）福利厚生部主催作業療法学会アフター企画
アンケート集計しました（別ファイル「ライフイベントに応じた働き方ってなんだろう？アンケート」参照）
3）優秀学生賞について
表彰状を事務局へ依頼し、各養成校へ送付しています。
【審議事項】
1）団体保険の更新について
例年同様　被保険者20名　94,200円（1年間）の更新を行ってもよいか　⇒承認

5. 地域作業療法推進部
【報告事項】
1）地域包括ケア推進グループ（山口グループ長）
①1月25日関東ブロック会議が開催され、山口G長が参加した。
②2月2日地域包括ケア推進グループ定例会議を実施した。
③2月12日日本作業療法士協会地域包括ケア推進委員主催のweb研修に山浦理事、山口G長が参加した。
④2月15日生活の質向上のためのワンポイントアドバイスに関する検討会議を実施した。
⑤3月2日に作業療法士×他職種コラボセミナーをWeb形式にて開催した。「地域包括ケアシステムにおける他職種連携の課題」と題し、講師に株式会社ファーマプラス専務取締役小黒佳代子先生をお招きした。他職種も参加し24名の参加があった。
⑥3月9日に地域包括ケア推進グループ定例会議を実施し、来年度予算や活動計画に関する検討を行った。
2）認知症支援推進グループ（宮寺グループ長）
①1月21日（土）「認知症ケア資質向上のための研修①認知症の基礎疾患の理解とケアについて～色んな職種の視点を覗いてみよう～」をオンラインZoomで実施した。介護福祉士、介護支援専門員、看護師、リハビリ職等43名が参加した。
②3月4日（土）「認知症ケア資質向上のための研修②認知症の人が最後まで自分らしく生活するために～地域の活動を目撃！～」をオンラインZoomで実施した。介護福祉士、介護支援専門員、看護師、リハビリ職等45名が参加した。
③令和5年度　群馬県地域医療福祉総合確保基金（総事業費877,000円、内士会負担金220,000円）を群馬県庁地域包括ケア推進室へ申請した（令和3年3月16日付）。
3）精神科領域推進グループ（喜連グループ長）
①1月30日（月）19:30～第6回会議、2月20日（月）19:30～第7回会議を実施。来年度の事業計画と予算案の検討を行った。
②2月12日（日）群馬県地域自殺対策強化事業の研修会を実施した。参加者28名で、アンケート結果より、本研修の内容を理解することができたと回答した人がほとんどを占めた。
③3月3日（金）第2回情報交歓会を開催した。テーマは「地域生活での課題を考える～精神科訪問看護の経験を通して～」で、話題提供者は上之原病院の米原浩貴OTRであった。参加者は15名だった。
④2月15日ワンポイントアドバイスの会議に参加。修正・校正を進める。
⑤3月1日（水）発達Gの定期勉強会にグループ員5名程が参加した。
⑥来年度のグループ長は加藤智弘氏（原病院）に決定した。
4）発達支援推進グループ（六本木グループ長）
①1月28日（土）日本作業療法士協会制度対策部主催「教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会」に六本木G長、中嶋鮎氏、北爪浩美氏が参加した。
②1月29日（日）ブロック長会議をオンラインで開催した。
③3月1日（水）19:00～21:00定期勉強会をオンラインで開催した。テーマは『令和4年度外部専門家派遣事業報告会』とし、実際に派遣対応したOT4名による報告を行った。参加者は24名（県士会員22名、他県士会員1名、県士会非会員1名）であった。精神科領域のOTも多数参加していただいた。
④ 3月15日（水）幹部会議をオンラインで開催した。
⑤令和4年度事業報告、会計書類、令和5年度事業計画、予算案について作成を行った。
【審議事項】　なし

6. 地域局
【報告事項】
1）北中毛ブロック支部［報告者：小此木］
3月1日（水）に前橋市地域リハビリテーション協議会議に出席した。
2）西毛ブロック［報告者：山浦］
3月30日（木）に次年度の学会実行委員会開催予定。ブロック支部活動として学会の支援をする。
次年度も医療介護連携フェスティバルは開催予定である。西毛ブロック活動として参加していく方向で検討しており、参加依頼の要請があった時点で参加の可否について協議させていただきたい。
3）東毛ブロック支部［報告者：今村］
太田市宝泉地区から次年度も介護予防教室の依頼があり対応する。
伊勢崎市介護認定審査員について原病院加藤先生に決まった。
【審議事項】　なし

7. 運転と作業療法特設委員会［委員長：原 大地］
【報告事項】
1）2023年4月19日（水）にぐんま自動車運転リハビリテーション研究会と合同で群馬県内の指定自動車教習所と情報交換会を実施予定。
【審議事項】　なし

8. 養成校連絡協議会
【報告事項】
1）3月6日に第2回会議を行った。主に次年度の事業計画と担当について検討した。臨床実習指導者講習会は1回（受講者枠未定）を予定している。

9. 福祉用具委員会［福祉用具委員会：石森卓矢］

【報告事項】

1）福祉用具相談支援システムの県士会員登録状況

令和5年3月17日において、福祉用具相談支援システムの登録者数は34件、相談件数は0件。

【審議事項】 なし

10. 全国リハビリテーション学校協会　臨床実習指導者講習会　連絡校担当者

【報告事項】

1）2022年度　連絡校活動費について

昨年度まで、全国リハビリテーション学校協会臨床実習指導者講習会に関する活動費の使途が各都道府県で様々であった（GAOTで請求、支給上限\25,000）。2021年度からプログラムの本格運営が開始されたため、2022年度以降は連絡校への負担考慮で、各連絡校が請求した場合、上限内で支払われることになった

（1　都道府県あたりPT・OT連絡校への支給上限額：PT連絡校25,000円、OT連絡校25,000円）。

→GAOTとしては、今まで通り養成校連絡協議会が対応をしている。群馬のOTにおける窓口は山口（群馬医療福祉大学）。年2～3回のWEB会議は出席するが、活動費の請求はしない。情報は養成校連絡協議会担当（高坂理事）とも共有している。また、山路GPTA会長とも状況について報告。

【審議事項】 なし

11. 事務局

【報告事項】

1）住宅公社社屋賃貸契約を行った。

2）事務局員　繁野様2月10日退職。加藤様2月2日契約。

3）HP広告掲載に関する規約について

修正したもので完成とし、本日の理事会の日付で施行

4）日当（謝金）に関する規約について

修正したもので完成とし、本日の理事会の日付で施行とします

【審議事項】

1）令和5年度予算案について　継続審議

2）第13回群馬県作業療法士会総会の日程・会場及び実施方法について

日程：6/25　　会場：群馬県公社総合ビル

実施方法：対面（事前申し込み）

3）協会より代議員選挙運営委員の推薦のお願いについて

任期：2023.8.1～2024.1.31

推薦期日：2023.6.30

事務局(高橋事務局長)が人選等手配することとなった

4）事業提案

①事業内容：出産や育児介護、長期の病気療養等に伴う休業及び失業に関わる会費減免事業

②期間：2025年までの2年間の時限事業とする

恒久的な制度ではなく、期間を限定した正会員向けの福利厚生事業の一つとして実施する

③対象範囲：出産育児,介護長期の病気療養等で休職失業になった正会員に対し年会費の½を減免する

④減免申請：OT協会の休会届同様の提出書類を求める。

⑤減免中の会員の権利：現行の正会員の権利を保有する

上記内容にて承認となった。

作業療法士募集

医療法人恵愛会青木病院

当院は栃木県足利市にございます、精神科病院です。地域医療に貢献することを理念に掲げ、社会復帰施設の充実に着手しております。入院から就労支援まで切れ目のないリハビリテーションを展開しています。

■募集人員 1名
■雇用形態 常勤/非常勤
■資格 作業療法士
■勤務時間　雇用形態に応じる
■業務内容　①院内外作業療法②精神科デイケア
③就労支援等
■こんな職場　ベテランから若手までコミュニケーションがとりやすい職場です。近年、身体リハビリにも力をいれています。

医療法人恵愛会青木病院
〒326−0808　栃木県足利市本城1丁目1560番地
☎0284-41-2213
担当:飯山(イイヤマ)・松坂

投稿大募集!!

ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や日常業務で工夫している点、こんな研修会に参加した･･･などなど、皆様からの投稿を募集しております。
どんなことでも構いませんので、
お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス：koha.yuu@yahoo.ne.jp
広報部･ニュース編集グループ
反町拓海

県士会ホームページアドレス
http://www.gunma-ot.org/

編集後記

今号では、今年度の群馬県作業療法学会の学会長である、佐藤先生に巻頭言の執筆を依頼させて頂きました。コロナ禍が落ち着いて、対面でのイベントなどが解禁された中での開催になるかと思います。久しぶりに学会、研修会の雰囲気が戻ってくるのではないでしょうか。会員の皆さまには、今一度拝読頂き、来る開催日を楽しみにして頂けたらと思います。　S

群馬県作業療法士会ニュース

発 行 者‖新井　健五
発 行 所‖群馬県作業療法士会事務局　〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号　TEL･FAX 027-224-4649
編集代表‖反町 拓海　編集委員‖関　仁紀、下田　幸、辻 千鶴子、大脇 宗雅　印刷‖星野印刷株式会社